

一材型繊維補強
ポリマーセメントモルタル

厚塗り
タイプ

TJアタック

モルタルMA-100

強

NEXCO 構造物施工管理要領『左官工法による断面修復の性能照査項目』規格適合品

吹き付け・コテ塗り両用の面で抜群な作業性を可能にし、なおかつ高強度を実現。

硬化収縮も少なく、他社断面収縮材に比べ、1回あたりの厚付施工性(垂直面30mm)に優れているため、作業工程の省力化を実現した一材型繊維補強ポリマーセメントモルタルです。

特 長

◆ 吹き付け・コテ塗りでの抜群の作業性

特殊配合によりコテ離れ・伸びが良く、垂直面で10～50mmの厚塗りが吹き付け・コテ塗りで作業を行えます。付着性にも優れているため、吹き付け時のリバウンドも少なく、厚付施工が可能なため作業工程の省力化が図れるため、コスト面でも優れています。

◆ 優れた実用強度

当社特殊配合により、優れた実用強度を実現。

◆ 硬化収縮が減少

硬化後、経年による硬化収縮も少なく、ひび割れの発生を大幅に減少。

用 途

- ▶ 床面の補修：工場や店舗床 ⇒ 強度が求められる下地に。
- ▶ 天井・壁面の補修：床版天井・橋桁・橋脚 ⇒ 優れた作業性により工期短縮。
- ▶ 下地処理材：各種防水塗装の欠損補修・不陸修正 ⇒ 厚付け施工が必要な下地へ。

荷 姿



モルタルMA-100
25kg/防湿袋



テックス7 (アクリル樹脂系吸水防止材)
1kg・5kg/ポリ容器入り 18kg/缶



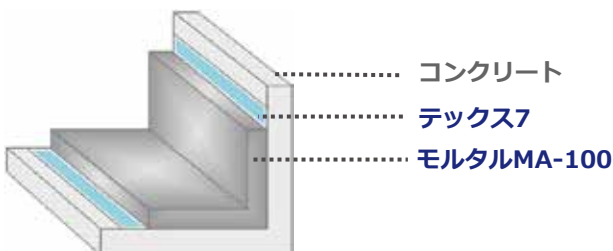
材料使用量

○モルタルMA-100

1袋当たりの標準練り上がり量		
粉体 (kg)	水 (ℓ)	練り上がり量 (ℓ)
25	4.5	約13.9
1㎡当たりの使用量		
粉体(kg)	水(ℓ)	
1,800(72袋)	324	

標準塗厚		10～50mm
材料 使用量 (kg/㎡)	10mm	18.0
	20mm	36.0
	30mm	54.0
	40mm	72.0
	50mm	90.0
1㎡当たりの材料量		1.8 t

標準施工図



○テックス7 (アクリル樹脂系吸水防止材)

下地の状態	平滑面	斫り面
塗布量 (㎡)	0.1kg	0.2kg
1kg	10㎡	5㎡
5kg	50㎡	25㎡
18kg	180㎡	90㎡

物性値・性能

○一般物性

試験項目		試験値	試験方法
フロー値(mm)		138	JIS R 5201
単位容積質量(kg/m ³)		2,124	JIS A 1116
凝結時間	始発(時-分)	6-25	JIS A 6204
	終結(時-分)	7-40	
曲げ強さ(N/mm ²)	材齢1日	5.03	JIS R 5201
	材齢7日	9.06	
	材齢28日	9.52	
圧縮強さ(N/mm ²)	材齢1日	20.4	JIS R 5201
	材齢7日	51.4	
	材齢28日	62.3	
付着強さ(N/mm ²)	材齢7日	1.85	建研式接着力試験器による
	材齢28日	2.10	
耐ひび割れ性		異常なし	JIS A 6916

注) 付着強さ試験はテックス7を0.15kg/m²塗布し24時間後に、モルタルを塗り付けて行った。

○NEXCO 構造物施工管理要領『左官工法による断面修復の性能照査項目』

試験項目		測定値	規格値
硬化時間(h)		1以上	1以上
温冷繰り返し後の外観		均一でわれ、はがれ、ふくれがない	均一でわれ、はがれ、ふくれがない
硬化収縮性：長さ変化率(%)		0.04	0.05以下
熱膨張係数(℃)		1.5×10 ⁻⁵	2.0×10 ⁻⁵ 以下
コンクリートとの付着性(N/mm ²)	湿潤時	2.8	1.5以上
	耐アルカリ性試験後	2.0	
	温冷繰り返し試験後	2.8	
塗装塗膜との付着性(N/mm ²)	温冷繰り返し試験後	1.2	1.0以上
圧縮強度(N/mm ²)		49.8	設計基準強度以上

使用 方 法

①下地処理およびプライマー（または接着材）の塗布

下地コンクリートの表面は、モルタルの付着を妨げる脆弱部・ホコリ等を除去して下さい。
吸水防止の為、テックス7を0.1～0.2kg/m²塗布して下さい。

②モルタルMA-100の練り混ぜ

規定量範囲の水(4.5ℓ)を計量し、その後ハンドミキサー等を回しながら徐々に粉体を投入し、均一になるまで練り混ぜて下さい。
練り混ぜ後、1～2分程度放置し、再度30秒程練り混ぜるとより安定した状態となります。

③モルタルMA-100の吹き付け・塗付け施工

テックス7硬化後(3～24時間)、モルタルMA-100が施工面の凹部に詰まるように金ゴテ等で塗りつけ、十分に圧着して下さい。
その後、直ちに所定の厚さになるよう塗り付けてください。

●夏季及び直射日光の当たる場所での施工について

直射日光により下地が温度上昇している場合は、散水等により躯体温度を下げてください。また、施工後養生中は急激な乾燥によるドライアウトを防ぐためにシート養生等の処置を行ってください

使用上の注意

1. 粉体の取り扱いはセメントに準じて行って下さい。
2. 破袋製品や開封後放置した製品を使用しないで下さい。
3. 練り混ぜ水には水道水を使用して下さい。
4. 他材料を添加しないで下さい。

※取り扱いに関する詳細な注意事項は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

●本資料の技術データについて

- ・本資料の技術データは当社の試験・研究に基づいたもので、施工条件などにより異なる結果が生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がございますので、ご了承下さい。
- ・材料、施工でのご不明点がありましたら、当社営業担当へご相談下さい。

H30.8

【総販売元】



<http://www.jikkou.co.jp/>

■本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6
TEL : 078-974-1141 FAX : 078-974-7786

■東京支店 / TEL : 03-5628-2375 FAX : 03-3636-4475 ■東北営業所 / TEL : 022-796-5312 FAX : 022-796-5313
 ■中部営業所 / TEL : 052-433-1350 FAX : 052-433-1351 ■大阪営業所 / TEL : 06-6486-9797 FAX : 06-6486-9798
 ■中国営業所 / TEL : 082-831-7505 FAX : 082-831-7506 ■四国営業所 / TEL : 089-905-3833 FAX : 089-905-3834
 ■九州営業所 / TEL : 092-512-2248 FAX : 092-541-6331 ■技術研究所 / TEL : 078-920-1115 FAX : 078-920-1116

【製造元】



High-Quality & Trust
テクノスジャパン株式会社

【代理店】

※ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データをもとつくものではありますが、多岐にわたる条件下での実績の現場結果を確実に保証するものではありません。
※万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用いただく場合には、ご使用者側にて調査検討くださいますようお願い致します。